

## 総合的な学習の時間 探究的な学習を充実させるためのポイント

総合的な学習の時間においては、探究的な見方・考え方を働かせて資質・能力を育成するために、探究的な学習を充実させることが重要です。そこで、探究的な学習を充実させるためのポイントを、学習過程に沿って示します。



探究的な学習とは、問題解決的な学習が発展的に繰り返されていく一連の学習活動のことです。探究的な学習を充実させるためには、①課題の設定→②情報の収集→③整理・分析→④まとめ・表現のような学習過程にするとともに、児童生徒が自ら課題を解決する過程を想定して単元計画を作成することが大切です。

【小学校第6学年指導事例】 単元名：食品ロスを減らすために～自分たちにもできることを考える～  
単元の目標：食品ロスの問題について、現状や要因を調べることを通して、食に携わる人々の思いを理解し、自分たちにもできる取組を考えるとともに、自らの生活や行動に生かすことができるようにする。

T：教師 S：探究的な見方・考え方を働かせながら学んでいる児童の姿

**①課題の設定のPoint** 児童生徒が、これまでの考えとのずれや隔たり、対象への憧れや可能性を感じ、自ら課題をもつことができるよう、学習対象との関わり方や出会わせ方を工夫しましょう。

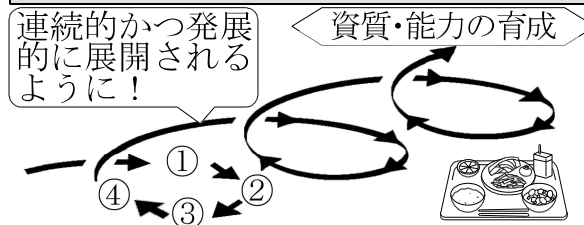
資料 食品ロス量 (国民1人当たり)  
年間 約 45kg  
1日 約 124g  
(茶碗1杯のご飯と同じくらいの量)



T：資料を見て、感じたことはありますか。  
S1：年間だと、自分の体重くらいの重さか…。  
S2：思っていたより、無駄にしているんだね…。  
S3：世界全体だと、どれくらいの量なのかな。  
S1：食品ロスを減らしていきたいな。  
T：感じたことを基に、課題を設定しましょう。

児童生徒の考えや課題が新たに更新され、探究の過程が繰り返されていく！  
S1：無駄になる食品を活用できないかな。

探究的な学習における一連の学習過程



**②情報の収集のPoint** 情報収集を自覚的に行うことができるよう、調査する目的を明確にし、調べる方法等を児童生徒が選択する場を設定しましょう。

T：課題を解決するために、何について調べますか。  
S2：世界や県の食品ロス量、給食の残飯の量を調べたいです。  
S3：食べ物に関する仕事をしている方々がどう思っているのか知りたいです。  
S1：どうして食品ロスが起こるのかも調べたいです。  
T：どのような方法で調べますか。  
S1：インターネットや本で調べます。  
S3：給食センターや地域の農家の方にお話を聞きに行きたいです。

**④まとめ・表現のPoint** 児童生徒の考えが一層明らかになったり、新たな課題が生まれたりするよう、まとめたり表現したりする際に、相手意識や目的意識を明確にする場を設定しましょう。

T：調べたことや自分の考えを、全校集会で発表してもらいます。どうすれば、分かりやすく伝わりますか。  
S3：インタビューの様子を、劇で再現すればいいと思います。  
S2：みんなが見やすいように、グラフをスクリーンに映せばいいと思います。

**③整理・分析のPoint** 収集した多様な情報を適切に整理したり分析したりすることができるよう、どのような方法で情報の整理や分析を行うのかを児童生徒が決定する場を設定しましょう。

T：共有した多くの情報をどう整理して、その後はどうしますか。話し合いませんか。  
S3：他の授業でも使ったベン図を利用して、様々な人々が食品ロスについて考えていることや思っていることの共通点を見付けようよ。  
S2：世界、日本、県の食品ロス量をグラフにして、比較しながら考えるのはどうかな。  
S1：どちらもいいね。最後に、食品ロスを減らすためにできることを話し合おうよ。

